

平成 29 年度廃棄物資源循環学会第 28 回研究発表会(東京工業大学大岡山キャンパス)にて当センターが下記研究発表を行いましたのでご報告いたします。当センターは研究テーマである資源循環型事業の企画検討段階から、実施支援、事業評価委員会運営までトータル的にサポートさせて頂きました。

[研究テーマ]

阪神高速大和川線の資源循環型共同プロジェクト成果

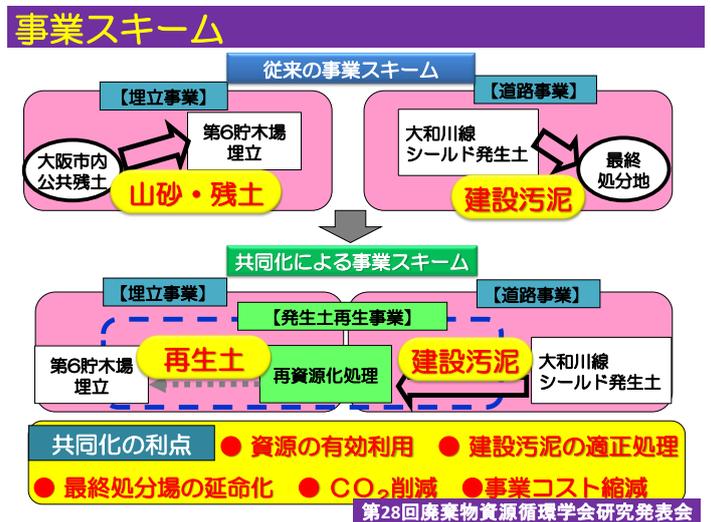
[研究者]

- 武甕 孝雄 一般財団法人関西環境管理技術センター
- 稲垣 学武 一般財団法人関西環境管理技術センター
- 水田 和真 一般財団法人関西環境管理技術センター
- 富澤 康雄 阪神高速技術株式会社
- 山名 宗之 阪神高速技術株式会社
- 勝見 武 京都大学大学院
- 嘉門 雅史 一般社団法人環境地盤工学研究所



[研究概要]

国が推進する建設汚泥の積極的なリサイクル・有効活用を図るため、阪神高速技術(株)は、2011 年より 2017 年まで個別指定制度を活用して、大規模道路事業と臨海部の土地造成事業という異なる公共事業を連携し、事業の共同化を行う「資源循環型共同プロジェクト」を実施した。建設汚泥の排出側・利用側を連携することにより、事業コストの削減に加え、国の進めるリサイクル推進、不適正処理の防止に寄与した。本事業の手法は今後のリニア新幹線関連など大規模な公共工事で一時期に大量に発生する建設発生土や建設汚泥の積極的かつ確実な再生利用に有効である。また、共同事業化には排出側事業、利用側事業の連携が必要である。そのためには今後は、公共工事だけでなく民間工事も含めた調整や、官民一体となった発生土の相互マッチングを強化する事業スキームを構築することが求められる。



[本件に関するお問い合わせ先]

一般財団法人関西環境管理技術センター 企画管理部企画推進課

TEL (06)6583-3262